

韓国における口蹄疫の発生状況

(2014年7月23日～、O型)



● : 発生地

济州道

※ 日付は申告日

※ 出典: 韓国農林畜産食品部

・前回発生は2010年11月～2011年4月(O型、牛・豚)。全8道のうち2道(全羅北道、全羅南道)と济州島を除き、韓国全土にまん延。

・韓国政府は、牛、豚、山羊及び鹿に対して3価混合ワクチン接種(Asia1型、A型、O型)を実施。韓国は2014年5月のOIE総会で口蹄疫ワクチン接種清浄国に認定。

・しかしながら、2014年7月23日に慶尚北道の義城郡で3年3か月ぶりに再発し、OIEのステータス認定停止。その後高霊郡、慶尚南道陝川郡でも発生確認(O型、豚)。

・韓国当局は、農林畜産食品部に口蹄疫防疫対策状況室(室長:次官補)を設置し、家畜疾病危機管理標準マニュアル、口蹄疫緊急行動指針(SOP)に基づく措置を実施。

発生農場: 抗原検出豚及び臨床所見を示す豚の殺処分・埋却、畜舎内外の消毒、家畜・車両等の移動制限措置等

発生・隣接地域: 追加ワクチン接種等

全国: ワクチン接種の徹底、畜舎内外の消毒徹底、畜産農家の集会の自粛等

・3農場で約2,000頭の豚を殺処分・埋却。2014年9月4日、全ての移動制限を解除。